

企業経営にプラス^{plus}するワンポイント情報誌

あき
た
商
エ

Biz^{plus}

秋田県商工会連合会報

Akita Prefectural Federation of
Societies of Commerce and Industry

1

2019
January
Vol.540

謹賀新年
今年は大きなビジネスチャンス到来
商工会が全力でサポートします



男鹿のナマハゲがユネスコ無形文化遺産に登録されました。
国内外への情報発信により、インバウンド需要など観光振興が期待されます。(写真提供:男鹿市役所)

昨年、秋田県においては、秋田犬人気や男鹿のナマハゲのユネスコ無形文化遺産登録、金足農業高校やバドミントンのナガマツペアの大活躍など国内外から注目を浴びた年でした。

また、大手検索サイトでは2017年度に調べられた英語の都道府県名ランキングで、「AKITA (秋田)」が上位になるなど秋田県の認知度が高まっている今、その結果をどのように活用し、ビジネスチャンスに結び付けていくかが重要となります。

今年は、秋田港への大型クルーズ船の寄港増加や台湾とのチャーター便就航などにより、県内を訪れる外国人観光客の増加が見込まれ、県内事業者にとっては、大きなビジネスチャンスが到来する年となります。

これらのビジネスチャンスを活かし、目に見える成果を獲得することができるよう、県連合会と21商工会は事業者を全力でサポートします。

年頭所感

秋田県商工会連合会 会長 村岡 淑郎



2019年の年頭にあたり謹んで新年のお祝いを申し上げます。

今年は、いよいよ「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が、そして来年は「東京オリンピック」が、さらに2025年は「大阪万博」と続けて、日本における世界的なイベントが予定されており、日本経済の好機が訪れております。

また、秋田県においても、台湾とのチャーター便就航や大型クルーズ船の寄港増、さらには「ナマハゲ」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、外国人観光客を受け入れる環境がハード・ソフト両面で着実に整い、県内事業者にとって、大きなビジネスチャンスが到来しております。

このような状況下で、県内事業者が様々な観点から自らの経営革新に果敢に挑戦し、目に見える成果を獲得することができるよう、県連合会と商工会は一体となって「商工会創生プラン」の実現を通じて、支援してまいります。

皆様すでにご承知の通りこの「商工会創生プラン」は、商工会に課せられた役割・期待をしっかりと受け止め、10年先の商工会のあるべき姿を見据え、その実現のための具体策を取りまとめたもので、2017年度から2021年度までの5年間を推進期間としております。

その最大の狙いは、商工会創設の原点に戻って「個別企業を徹底的にサポート」することで企業の活性化を促し、ひいては地域経済の活性化に結びついていく好循環を生み出すことであります。

推進から3年目を迎える2019年度は、本格執行期に入り、次の3点を重点に具体的な成果を積み重ねていきたいと考えております。

- 1 小規模事業者が必要とするICT活用を推進し、販路拡大や生産性の向上に結び付ける。
- 2 「秋田県事業承継相談センター」を運営し、県内全域で多くの事業承継実現を支援する。
- 3 「あきた女性活躍・両立支援センター」を運営し、働き方改革と企業の業績向上を両立させる。

この実現のために、県連合会及び商工会は、「商工会創生プラン」により商工会活動を総合的に強化し、時代の変化に的確に対応しながら、新たな可能性を切り開くための力強い企業活動を将来にわたって展開できるよう組織を挙げて支援してまいります。

結びに、商工会員の皆さま並びに関係各位にとって、新しい年が更なる飛躍の年となりますようご祈念し、年頭のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

秋田県知事 佐竹 敬久



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年をふりかえりますと、本県経済は、個人消費は全体としては緩やかな持ち直しの動きが続いたほか、製造業においては、電子・デバイスや木材・木製品等が好調で、事業拡大を図る企業の設備投資にも活発な動きが見られた一年となりました。

商工会連合会におかれましては、5月に「あきた女性活躍・両立支援センター」を、7月に「秋田県事業承継相談センター」を開設されたほか、10月には商工会創生プラン推進全県大会において、経営力向上に向けたICT活用推進や経営支援の取組強化等を宣言されたところであります。

さて、我が国は現在、本格的な人口減少時代の到来に伴う外国人材の受入拡大に向けた動きや、AIやロボットなど最先端のイノベーションによる生産性革命、そして保護主義の台頭に伴い激動化する国際情勢の中、大きく時代が転換する節目の年となります。

こうした中、県では、スタートから2年目となる「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づき、人口減少社会の克服への取組を加速化させるとともに、成長分野への参入促進や地域の中核となる企業の育成等に、取り組んでまいります。

また、新たに策定した「あきたの企業元気づくり指針」において、小規模企業者の振興、働き方改革の推進による人材の育成や確保、第4次産業革命への対応を重要な視点とし、意欲を持って経営に取り組む企業を強力に支援することとしております。

県連合会及び21商工会の皆様におかれましては、企業が有する力を最大限に発揮できるよう、今後とも強力なリーダーシップをもって、伴走型のきめ細かなサポートに、更に取り組んでくださるようお願い申し上げますとともに、会員企業の皆様には、商工会との連携を深めながら、行政の施策も十分に活用し、事業活動を精力的に推進していただきたく御期待申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって、希望に満ちあふれた飛躍の年となりますよう御祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

2019年は大きなビジネスチャンス的一年 新しいことにチャレンジ

ナマハゲ文化遺産登録とクルーズ船の寄港増加をチャンスに!

事業所名 株式会社おが **業種** 小売業(鮮魚・野菜など食品及びお土産品販売)
商工会名 男鹿市商工会

新たに「ナマハゲコーナー」の設置

「株式会社おが」が指定管理を受け運営する「道の駅おが なまはげの里(オガーレ)」は、ユネスコ登録を受け「ナマハゲ」関連商品の充実に取り組んでいます。世界遺産を巡る旅を楽しむ外国人観光客や、ナマハゲ発祥の地である男鹿を訪れる国内観光客の皆様楽しんでいただけるよう“ここでしか買えない”商品の提供と新たな男鹿のオリジナル商品開発を進めています。

クルーズ船の活用

「道の駅おが」のすぐ近くにある船川港には、国内最大級のクルーズ船「飛鳥II」も入港しており、さらに多数のクルーズ船の入港が期待されます。

今年は、インバウンド対応の看板設置や外国語変換機の導入、秋田犬のふれあい施設の順次設置を含め、社員が正しく地域情報を案内できるよう社員教育に取り組んでいます。



「ナマハゲ」関連商品のコーナーを設けています

チャーター便就航を契機にインバウンドの新たな挑戦

事業所名 グローカルプロモーション株式会社 **業種** コンサルティング業
商工会名 仙北市商工会

日本の旅館文化、温泉文化を発信、海外からの旅行者増加

海外向け旅館ポータルサイト(RYOKAN STORIES)を通じ、日本の旅館・温泉文化を発信し、地域と連携したインバウンド戦略・プロモーションを行い、外国人旅行者の増加を目指す仕掛け作りを行っています。

これまでに、秋田の「旬」の味を「旬」の場所で提供する移動型レストラン「C'sn Table(シーズンテーブル)」を企画し、外国人旅行者に好評を頂いています。

インバウンド向けの体験型旅行商品の提案

昨年は、秋田県の『際立つコンテンツ創出支援事業費補助金』を活用し、旅行者の2次アクセスとして電動自転車を導入し、温泉や自然巡りが出来るインバウンド向けの体験型旅行商品の開発を行いました。

今年は、大手ポータルサイトやホテルチェーンと差別化したPR戦略で、宿泊施設の「強み」を世界に向けて発信します。



外国人旅行者向けのサイクリングツアーを手掛けています

オリンピック等のスポーツを契機に海外からの宿泊客対応を強化

事業所名 株式会社フッシュ (ホテル フッシュ) **業種** 宿泊業
商工会名 北秋田市商工会

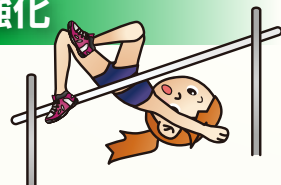
外国人宿泊客対応のために英語のホームページ作成

森吉山のふもとに位置するペンションで、近年増加する海外からの宿泊客に対応すべく英語対応のホームページを作成し、外部予約サイトからの予約が増加しています。

風光明媚な自然を堪能しながら、焼きたての手作りパンや美味しい地元食材をふんだんに使った手料理が好評を博し、首都圏及び台湾をはじめとするアジア各国からも観光客が来ています。

秋田内陸線を活用した東京オリンピックに向けての外国人誘客

秋田県を代表するインバウンドコンテンツである秋田内陸線を活用し、海外からの誘客に取り組んでいます。今後は2020年東京オリンピックにおける外国人誘客に向けて、この地域ならではのアットホームなおもてなしスタイルを前面に出した新規顧客獲得を目指していきます。



海外からの誘客のため英語対応のホームページを開設しています

して一緒に頑張りましょう!

消費税増税・軽減税率制度導入を契機に新たな取組に挑戦

事業所名 自然療法ケアサロン ゆばゆば

業種 マッサージ業

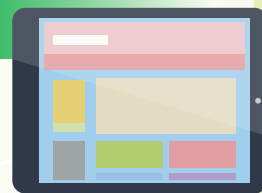
商工会名 大館北秋商工会

持続化補助金を活用した広報活動・設備の充実

人間の自然治癒力を癒しの原点におき、お客様の体調を整えるホリスティックケアのサロンとして平成28年に開業しました。商工会からの支援により持続化補助金を活用し、スマートフォン対応のホームページ作成・SNSを活用した広報活動や設備の充実を図っています。

サービス拡充・売上拡大への取組

今年10月1日からの消費税増税・軽減税率制度導入に向け、モバイルPOSレジを導入し業務の効率化を進めています。IT導入補助金を活用してレジ機能の充実を図り、顧客へのポイントサービスによる固定客づくりやモバイル決済、インボイス制度(適格請求書等保存方式)対応も視野に入れ、サービス拡充・売上拡大のチャンスに変えるべく、新しい取り組みに挑戦していきたいと考えています。



タブレット端末を活用したモバイルPOSレジを導入しています

人手不足解消・技術力維持のカギとなる外国人材の雇用

事業所名 シード株式会社

業種 縫製業

商工会名 北秋田市商工会

自社ブランドの立ち上げ

平成9年高級エプロンの製造を中心に創業し、その後高い縫製技術と昇華転写プリント力により、スポーツウェアの製造へと方向転換を図ってきました。企画から生産まですべて自社で行えることを強みに、数年前からは東京支社を開設し、スポーツウェアの自社ブランドを立ち上げ売上を伸ばしています。

外国人材の雇用による今後の展開

近年では業界問わず優秀な外国人材確保の競争が激化しており、福利厚生や職場環境の整備を図りながら、技術力の高い外国人材に長く勤めてもらえるよう努めています。

また、台湾でのサイト販売に向けホームページの多言語化を図り、高品質なジャパンメイドとして海外からのオーダーメイドやセミオーダーメイド受注システムを構築するなど新しい展開に力をいれていきます。



技術力の高い外国人材を雇用しています

事業承継を契機にした働き方改革と生産性向上への取組

事業所名 株式会社かなでん

業種 電気設備工事業

商工会名 かつの商工会

働き方改革を意識した就業規則の見直し

創業30年を契機に事業承継を計画しました。これまでは従業員の昇格から事業戦略まで、創業者である前社長のトップダウンによる意思決定で事業運営が行われてきたため、現社長への事業承継にあたっては、前社長の判断基準を明文化し従業員のさらなる士気高揚につなげました。

これを機に、働き方改革を意識した、労働者不足や若年定着など今後予想される課題への対応も含め、商工会の専門家派遣を活用し就業規則の見直しを行っています。

経営力向上計画認定による生産性向上

生産性の向上に向け、作業車両の導入も検討していたことから、商工会の支援の下、導入後の活用も含めた経営力向上計画の認定を受けました。

今年は、事業承継2年目を迎えることから昨年取り組んだ内容を検証し、働き方について従業員と一緒に意識して進めていきます。



社長と部長にて今後の経営計画について話し合っています

秋田県選出国會議員・中小企業庁・秋田県知事への要望活動

県連合会は、「商工会創生プラン」の推進に向けた5つの重点推進・要望事項を決議し、各方面へ要望しました。

～要望活動の流れ～

商工会創生プラン推進地区別意見交換会

県北・中央・県南の3地区別に商工会員の皆様から意見を伺いました。

商工会創生プラン推進全県大会

■「商工会創生プラン」の推進に向けた5つの重点推進・要望事項

- 1 小規模事業者の経営力向上に向けたICTの活用促進
- 2 商工会ならではの事業承継の推進と支援機能強化
- 3 働き方改革を実現するための支援策の強化
- 4 多様化する事業者ニーズに応える高度な人材の育成強化
- 5 経営基盤強化のための税制等改正

県選出国會議員への要望

※要望先:金田勝年議員、御法川信英議員、富樫博之議員、寺田学議員、
緑川貴士議員、石井浩郎議員、中泉松司議員

中小企業庁への要望

県知事への要望



◎意見交換会
商工会員と活発な意見交換を実施



◎全県大会
地域の事業者の声を国や県に届け、
中小・小規模事業者支援を着実に進め
ることを決議



◎知事との懇談会
佐竹知事へ要望書を手渡す村岡県連
合会会長

あなたの夢をカタチに! @秋田ふるさと村で テナント募集のお知らせ

【出店場所】

- ふるさと料理館（レストラン）／店舗面積:157㎡
和食、洋食、郷土料理など
- もぐもぐ広場（フードコート）／店舗面積:25㎡
麺類、ご飯もの、カフェなど（テイクアウト含む）
- 工芸工房／店舗面積:37㎡
工芸品の制作、販売、手づくり体験など

【営業日・営業時間】

営業日数／年間355日 ※年1回（10日間）のメンテナンス休業日（1月）
営業時間／午前9時30分～午後5時
※イベント開催日や繁忙期には延長営業する場合があります。

【応募方法】

テナント入居申込書及び添付書類を提出していただいた後、選考させて
いただきます。詳しくは下記までお問い合わせください。



【お問い合わせ先】 秋田ふるさと村 事業部／担当:佐藤・高橋 電話.0182-33-8800 FAX.0182-33-8889

広告

万が一の時に備え、
従業員やご家族を
守ります



月々
2,000円
から

全国商工会
会員福祉共済



月々
1,000円
から



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)
購読料／1部10円（会費に含む）毎月1日発行 発行日／平成31年1月1日
(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)